

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム

上場取引所 東

コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勤

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,640	4.9	689	6.0	730	5.2	402	115.2
25年3月期第3四半期	32,069	4.9	650	△23.7	695	△23.5	187	△60.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 404百万円 (115.1%) 25年3月期第3四半期 187百万円 (△61.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	40.93	—
25年3月期第3四半期	19.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	15,949	5,233	32.8	531.63
25年3月期	15,174	4,937	32.5	501.56

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,233百万円 25年3月期 4,937百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
26年3月期	—	5.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.2	1,000	36.3	1,050	35.2	550	181.2	55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,833,000 株	25年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	989,037 株	25年3月期	988,995 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,843,974 株	25年3月期3Q	9,844,073 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和政策に対する期待感から円安・株高が進み、企業業績は改善し、設備投資の増加や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などで個人消費にも持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

食品業界におきましては、業種・業態を越えた価格競争や、消費者の根強い節約志向は続いており、円安などによる原材料価格の上昇も加わり、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは当期より新たな組織体制でスタートし、お客様の多様なニーズに応えるべく商品や販売チャネルの開発など、更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は336億40百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は6億89百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益は7億30百万円（前年同期比5.2%増）、四半期純利益は4億2百万円（前年同期比115.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

変更の詳細は、9ページの「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

#### (スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、産地直送ルートの開拓や日配品及び業務用食品の品揃えを充実させ、リーズナブルな価格で販売することにより他店との差別化を図ってまいりました。また、年末商戦についても新潟県内の気候が例年よりも落ち着いたことが後押しした結果、既存店の売上高は前年に比べて堅調に推移いたしました。また、昨年6月にオープンした「チャレンジャー海老ヶ瀬店」（新潟市東区）は引き続き見込みを上回る来客数となっており、売上高も順調に推移しております。

「業務スーパー」部門につきましては、11月に新潟県で8店舗目となる「業務スーパー新井店」（新潟県妙高市）をオープンし、営業エリアの拡大を図ってまいりました。また、店舗ごとの立地環境やお客様のニーズに対応するために、青果や精肉等の生鮮食品の導入を推進するなど、品揃えの拡充により新たなお客様の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は237億39百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は4億97百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

#### (弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）部門につきましては、主力の弁当だけでなく、パンの販売を新たに開始し、お客様のニーズの高い商品にも目を向けることで新たなお客様の獲得に努めてまいりました。また季節の食材を盛り込んだ弁当を企画することにより食数の増加を図っておりますが、市場全体の喫食者数が減少傾向であるなか、競合他社との顧客獲得競争も激化しており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」73,400食（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億57百万円（前年同期比0.5%増）、原材料価格の上昇、労務費及び水道光熱費の増加によりセグメント利益は2億96百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

#### (食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、従来は個人宅向け商品を中心としていましたが、法人向けサービス「ヨシケイキッチン」を展開し、小規模な社会福祉施設向けの食材宅配を展開しております。また、季節ごとの特別販売企画や新規顧客獲得に向けたキャンペーンなどの販促活動は行っているものの、インターネットによる食品宅配サービス等との競合から、既存の顧客数が減少傾向にあり、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38億17百万円（前年同期比2.0%減）、販売管理コストの抑制や業務の効率化に努めたものの、売上高の減少幅が大きかったことによりセグメント利益は2億30百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

(惣菜製造事業)

惣菜製造事業の「惣菜受託製造」部門につきましては、委託先からの季節ごとの企画商品とベーシックアイテム数が増加したことで、売上高は順調に推移いたしました。なお、惣菜受託製造は前第2四半期連結会計期間より開始しております。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）部門につきましては、代理店の新規契約獲得に向け営業を強化してまいりましたが、喫食者の昼食スタイルの多様化や、競合他社との価格競争も激化しており、販売食数は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は7億89百万円（前年同期比45.6%増）、セグメント損失は29百万円（前年同期はセグメント損失96百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、旅館「海風亭 寺泊 日本海」はアベノミクスによる景気回復基調が消費者意識を刺激したことに伴い、宿泊単価は前年同期に比べ増加いたしました。また、地域全体の観光客の減少により、宿泊者数及び日帰りの来客数は前年を下回る結果となりました。

また、昨年4月に新潟市にオープンした外食店舗（居酒屋「廻船問屋 日本海」）は、お客様からも好評を頂いており、来客数は順調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4億37百万円（前年同期比8.1%増）、旅館部門における外壁の修繕費、外食店舗の新規出店に伴う費用の発生などにより、セグメント損失は40百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億75百万円増加し、159億49百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円増加し、107億16百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億96百万円増加し、52億33百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.3ポイント上昇し、32.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成25年5月14日）の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,383,425	1,932,727
売掛金	1,042,491	1,029,675
商品	1,147,136	1,455,669
原材料	137,317	134,751
その他	531,696	527,046
貸倒引当金	△9,134	△10,063
流動資産合計	4,232,932	5,069,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,681,050	4,933,320
土地	3,072,264	3,071,214
その他(純額)	747,691	677,088
有形固定資産合計	8,501,006	8,681,624
無形固定資産		
のれん	4,421	1,640
その他	335,442	301,271
無形固定資産合計	339,863	302,912
投資その他の資産		
その他	2,121,887	1,916,404
貸倒引当金	△21,421	△21,089
投資その他の資産合計	2,100,466	1,895,314
固定資産合計	10,941,336	10,879,850
資産合計	15,174,269	15,949,658
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,413,478	3,196,779
短期借入金	1,228,985	1,664,408
未払法人税等	155,200	4,798
賞与引当金	190,375	77,967
その他	1,334,590	1,425,653
流動負債合計	5,322,628	6,369,606
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,570,820	1,935,157
リース債務	226,747	274,920
役員退職慰労引当金	346,418	348,817
退職給付引当金	19,006	21,303
資産除去債務	424,548	457,906
その他	526,716	508,571
固定負債合計	4,914,257	4,346,675
負債合計	10,236,886	10,716,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,529,305	4,823,982
自己株式	△751,551	△751,582
株主資本合計	4,946,245	5,240,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,862	△7,515
その他の包括利益累計額合計	△8,862	△7,515
純資産合計	4,937,382	5,233,376
負債純資産合計	15,174,269	15,949,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	32,069,910	33,640,883
売上原価	24,029,624	25,326,064
売上総利益	8,040,285	8,314,819
販売費及び一般管理費	7,389,811	7,625,342
営業利益	650,473	689,476
営業外収益		
受取利息	402	268
受取配当金	12,316	9,916
その他	68,406	74,679
営業外収益合計	81,125	84,865
営業外費用		
支払利息	32,674	33,344
その他	3,901	10,028
営業外費用合計	36,575	43,373
経常利益	695,023	730,967
特別利益		
固定資産売却益	—	19
収用補償金	5,552	—
特別利益合計	5,552	19
特別損失		
固定資産売却損	1,111	—
固定資産除却損	21,657	18,150
賃貸借契約解約損	2,584	7,671
減損損失	239,304	—
その他	24,815	9,125
特別損失合計	289,473	34,947
税金等調整前四半期純利益	411,102	696,040
法人税、住民税及び事業税	226,843	150,770
法人税等調整額	△2,956	142,308
法人税等合計	223,887	293,079
少数株主損益調整前四半期純利益	187,215	402,961
少数株主利益	—	—
四半期純利益	187,215	402,961



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	187,215	402,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	744	1,347
その他の包括利益合計	744	1,347
四半期包括利益	187,959	404,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,959	404,308
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	22,394,190	4,834,486	3,893,907	542,377	404,948	32,069,910	—	32,069,910
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,411	112,436	11,638	—	1,158	128,644	△128,644	—
計	22,397,601	4,946,922	3,905,545	542,377	406,106	32,198,554	△128,644	32,069,910
セグメント利益 又は損失(△)	441,394	314,678	286,424	△96,653	△29,207	916,635	△266,162	650,473

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,162千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△281,548千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	23,739,203	4,857,463	3,817,046	789,561	437,608	33,640,883	—	33,640,883
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,582	112,000	11,875	240	22,110	148,809	△148,809	—
計	23,741,785	4,969,464	3,828,922	789,801	459,718	33,789,692	△148,809	33,640,883
セグメント利益 又は損失 (△)	497,993	296,668	230,688	△29,046	△40,099	956,204	△266,727	689,476

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△266,727千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△277,040千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、第1四半期連結会計期間より、従来「弁当給食事業」に含んでおりました惣菜受託製造の業務を「惣菜製造事業」として新設し、「弁当給食事業」の一部工場で行っておりましたケータリングの業務を「旅館、その他事業」へ報告セグメントを変更しております。

これは、戦略的かつ機動的な配置による業務推進力の強化、事業運営の効率化・迅速化を図り、更なる業容・事業拡大を目指すことを目的とした組織変更を行い、当社グループの経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分を変更し、それに伴い報告セグメントの区分を変更したためであります。

あわせて、「小売事業」、「宅配事業」、「旅館、その他外食事業」を事業内容をより正確に表示するために、それぞれ「スーパーマーケット事業」、「食材宅配事業」「旅館、その他事業」と報告セグメントの名称を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。